

ななめな学校³

Facebookページでもイベント情報を発信しています！
<https://www.facebook.com/cmapomacmap/>



① 2018年11月10日[土] 11日[日] ② 2018年12月1日[土] 2日[日]

1日目 10:00～12:30 2日目 14:00～16:30 (受付は授業の30分前に行います)

場所：①はまのわ(旧高浜第二小学校)3F
 ②緑取コミュニティセンター

対象：小学校3年生～小学校6年生

時間：各2時間30分

定員：各25名(応募多数の場合抽選)

費用：1コマ1500円(教材費込・出口料前にお支払ください)

主催：千葉市メディア芸術振興事業実行委員会

→この実行委員会は、千葉市と連携のクリエイターで構成しています。

協力：千葉大学コミュニティ・イノベーションオフィス

イベント情報はホームページの最新参加者の作品を掲載し、ホームページ等で分かります。また、抽選開始の時刻が入ることがあります。予めご了承ください。

申込み方法

授業は全部で6授業、1つの授業毎に同じ授業内容で2日間で4回(土、日の1回ずつ、2日目)実施するので、都合の良い日時をお選びいただけます。1人あたり1コマから最大で6コマまで申込み可能です。
 応募を揃えるお申込みがあった授業(コマ)は、抽選とさせていただきます。

申込みの種別、下記URLよりご確認ください。授業の回数は1V1(水)～1V2(金)にかけて、申込みフォームでご登録いただいたメールアドレスに予約番号をお知らせいたします。保護者の方は授業を見学することも可能です。
 お問い合わせ：千葉市教育文化振興課 TEL 043-245-5961

申込み期間 10月22日[月]～29日[月]※

※2次募集を行う場合は11/3(土)から本会のHPにて随時お知らせします

申込みは <http://naname.school/> ホームページから

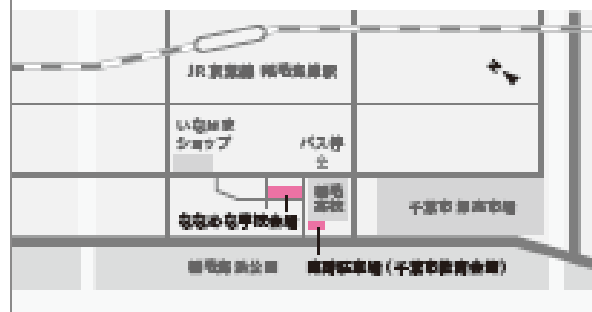
タイムテーブル・会場アクセス

11月と12月で会場が異なります。表中の「1-10-1」などの番号は予約番号です。申し込み順の予約は先着順とさせていただきます。(1コマ1500円・定員25名)

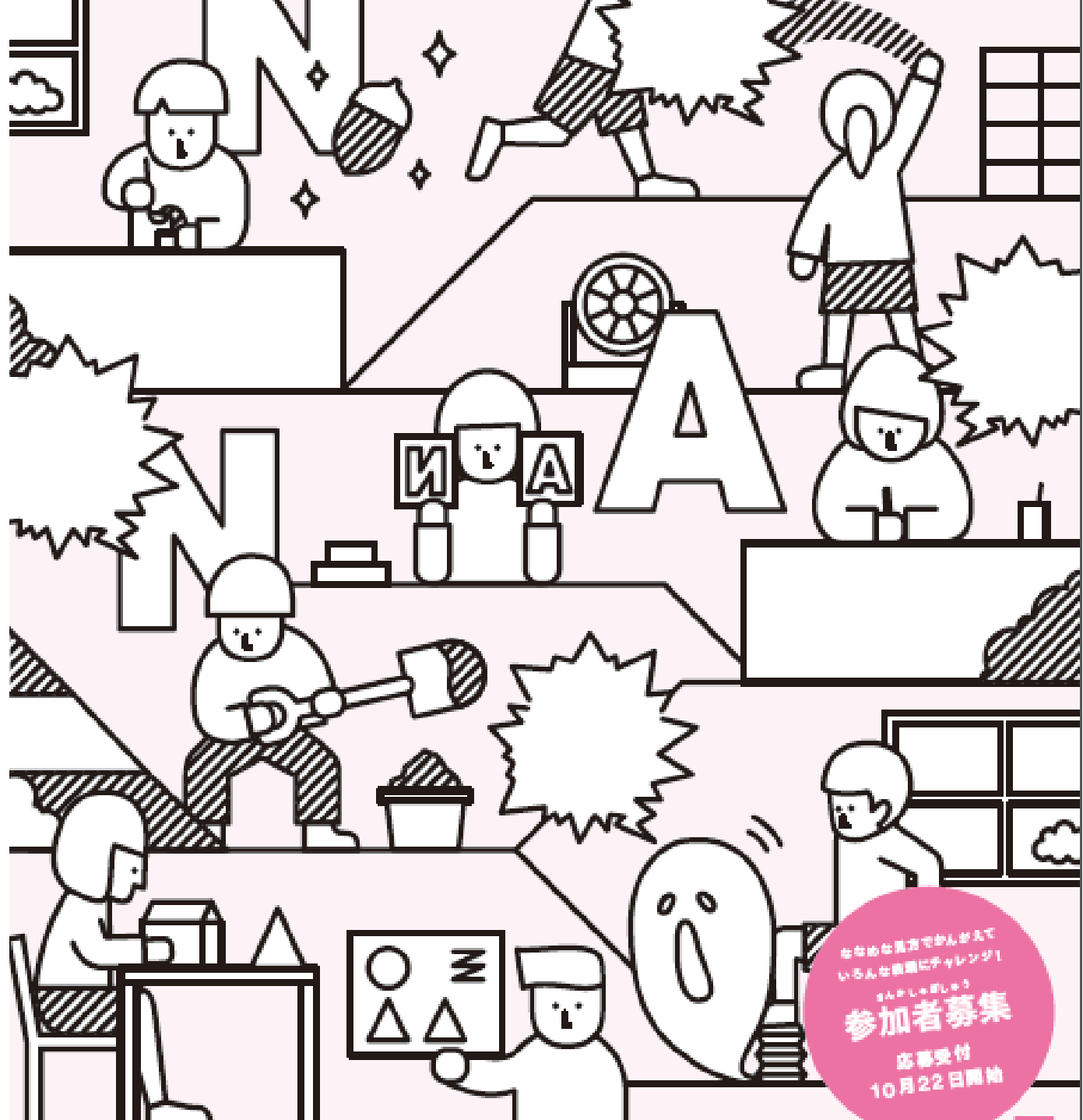
11/10 [土]・11 [日]		1日目 10:00-12:30	2日目 14:00-16:30
1	曲調で作る お菓子たち	10[土] 11[日]	1-10-1 1-11-1
	土人魚 千葉の土で絵を描こう	10[土] 11[日]	2-10-1 2-11-1
3	紙の造形と作るインキの 不思議な力	10[土] 11[日]	3-10-1 3-11-1

12/1 [土]・2 [日]		1日目 10:00-12:30	2日目 14:00-16:30
4	マンガのキャラクター& ストーリーをつくってみよう	1[土] 2[日]	4-1-1 4-2-1
	絵巻物 作ってみよう	1[土] 2[日]	5-1-1 5-2-1
6	ハイパーお絵描き つくろう!	1[土] 2[日]	6-1-1 6-2-1

はまのわ(旧高浜第二小学校)3F
 〒261-0003 千葉市美浜区本郷3-3-1
 1階と2階の両方に参加される方は両方の会場にお申し込みください。
 最寄駅：本郷駅(千葉市教育委員会)
 JR京葉線 新大塚駅から徒歩15分 / JR京葉線 新大塚駅(南口)より千葉市東交差バス(本郷線)で約8分乗車 → 徒歩約4分



緑取コミュニティセンター
 〒265-0031 千葉市緑区おひまろ3-15-2
 直営の会場とさせていただきます。1階と2階の両方に参加される方は両方の会場にお申し込みください。
 最寄駅：本郷駅(千葉市教育委員会)より徒歩約15分
 JR外房線 緑取駅(南口)下車 徒歩5分



ななめな学校でかんがえて
 いろんな表現にチャレンジ!
 おんぷしゅーど
参加者募集
 応募受付
 10月22日開始

ななめな学校³

2018年11月10日[土] 11日[日] / 12月1日[土] 2日[日] △ Chiba School for Arts and Media

場所：11月 はまのわ(旧高浜第二小学校)3F / 12月 緑取コミュニティセンター 対象：小学校3～6年生 費用：各1500円(教材費込)
 ななめな学校は、アーティストやデザイナーといっしょにクリエイターが企画となり、いつもとは違う「ななめな」ものをお楽しみください。こどもの想像力を伸ばす新しい表現に挑戦する学校です。



ななめな学校

Chiba School for Arts and Media

ななめな見方でかんがえて
いろいろな表現に
チャレンジしてみよう

ななめな学校？

ななめな学校は、アーティストやデザイナーといったクリエイターが先生となりいつもとは違った「ななめな」ものの見方で、さまざまなメディアやテクノロジーを使った新しい表現に挑戦する学校です。前回はたくさんの応募があったので、第3回目となる今回は2つの会場で4日間に拡大して開催します！

2018年11月10日[土] 11日[日]
場所：はまのわ(旧高浜第二小学校)3F

2018年12月1日[土] 2日[日]
場所：鎌取コミュニティセンター

今回のななめな学校は、11月に千葉市美浜区の「はまのわ」で、12月に鎌取の「鎌取コミュニティセンター」で開催を行います。
※授業1-5は、作った作品を持ち帰ることができます。



6つの中から
好きな授業を
選ぼう！

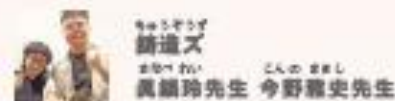
11/10[土] 11[日] の授業

授業
1

金属で作る
カタチたち



私たちの身の回りには様々な金属があります。どれも硬くて丈夫で金属を扱うのってなんだか難しそう。今回は鍛造という古くからある金属加工の技を使って銅で金属を作らし、自分の好きな形を金属化してみます。鍛造の奥深い世界をのぞいてみよう！



金属加工技術において豊富な知識と経験を持つプロダクトデザイナー・武蔵野と千葉大学にて専攻は金属の研究に携わっている金属の専門家・今野雅史によるユニット。金属の持つ能力や可能性、ものづくりの楽しさを伝える活動を千葉市内で行っている。

授業
2

土×色
千葉の土で絵を描こう



赤土にある土に目を向けるといろいろな色を発見できます。あるものは四角から、あるものは楕円から、そしてあるものはがけの斜面から。この授業では千葉県内のいろいろなところから集めてきた土で、筆を使わず大判の紙に思いっきり画して絵を描きます。



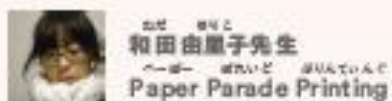
知恵とグループ展を中心に作品を展示、絵画と連携して陶器で立体的作品を制作する。各地域の土を採集して、絵具にしたり、陶器の土にしたり。第13回千葉市芸術文化祭個人賞を受賞。

授業
3

紙の活字と光るインキの
不思議ラボ



紙が光る？想像できる？紙でできた活字と光るインキを使って活版印刷の仕組みに挑戦します。紙の活字は、ひっかいたり、たたいたり、自由に振動が掛ける不思議な活字。自分だけの活字を使って印刷しよう。



多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業後スイーパーゼル造形学校在学中の2009年から紙活字の制作をはじめ。2015年に紙活字を得意し2016年からPaper Parade Printingとして紙活字作品制作やワークショップなどの活動をしている。

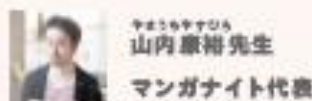
12/1[土] 2[日] の授業

授業
4

マンガのキャラクター&
ストーリーをつくってみよう



マンガのキャラクターをつくることは、新たに人を生み出すようなものです。自分に似たキャラクターに加えて、自分と正反対のキャラクターも上手に生みだせると読みのあるストーリーが生まれます。自分の考えたキャラクターを元にストーリーをつくってみよう。



マンガを介したコミュニケーションを生み出すユニット「マンガナイト」代表。2018年にマンガ専門ブックカフェ「マンガナイトBOOKS」を主催。共編に「PHONE PIECE」に手が懸るビジネスチームの作り方(集英社)監修。
<http://manganight.net/>

授業
5

模型を
作ってもらおう



建築設計で一番重要な、絵を描くコミュニケーションをします。生体が設置した模型を絵で光源に制限して、自分が見た通りの模型を作ってもらえるが挑戦してみましょう。絵を描いて、実際に手取りで制限して、小さなプレゼンテーションコンを画してみよう。



千葉県庁を拠点に建築設計をしています。みんなは布、紙、紙、紙の模型の設計に熱心な人です。建物から都市までまじめに考えて、人々の暮らしを豊かにするための建築を作ろうとしています。
<http://kurosawakawaten.com/>

授業
6

ハイパーおぼけを
つくろう！



ドライヤーや掃除機、つりばち、ポンプなどの「動くもの」と、布や紙、スポンジ、ビニールなどのいろいろな素材を組み合わせて、人をびっくりさせるおぼけをつくろう！最後はつくったおぼけを動かして、みんなでおぼけ展覧会をつくります。



「つくる」「遊ぶ」「つくりかえる」で世界をもっと楽しく、西千葉工作室は「広場に集まるものづくり」にみんなと一緒にチャレンジする、まちの工作室です。
<http://nishikawastudio.com/>